

WHAT'S NEW

ホームページに掲載しています。

発行 新渡戸文化学園
新渡戸文化短期大学

臨床検査学科に新しく、近藤先生を学科長としてお迎えしました

2010年4月から臨床検査学科の学科長に近藤陽一先生をお迎えしました。

近藤先生は、北里大学を卒業後、同大学院を修了し、防衛医大の衛生学の助手からリハビリテーション部の講師をされ、その後山野美容芸術短大の美容保健学科教授、学科長、副学長を歴任しました。専門は衛生・公衆衛生学、環境衛生学、環境生理学、スポーツ生理学で、医学博士、臨床検査技師でもいらっしゃいます。



今、話題のお店Le Gauloisのオーナーシェフによる講習会は大好評



2010年3月5日に開催された講習会は、Le Gaulois(ル・ゴロワ)のオーナーシェフ、大塚健一先生をお招きし、お店で大人気のグレープフルーツプリンを教えていただきました。間近で見せていただく先生の細やかな技に学生たちも見入っていました。また、このデザートの誕生秘話も交えた楽しいお話と、グレープフルーツの果汁と果肉がたっぷりのなめらかなプリンをいただけて、幸せな学びの機会となりました。次回はパン作りを教えて下さるそうで、今から講習会が楽しみです。

岩切信一郎教授が「芸術選奨文部科学大臣新人賞」を受賞

文化庁は3月12日、芸術の各部門で業績を残した個人に送る2009年度(第60回)芸術選奨の受賞者を発表し、生活学科の岩切信一郎教授が芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)を受賞されました。新人賞候補は7名、有力な候補作品の中、岩切教授著作の『明治版画史』は移り行く出版技術やそれに携わった職人、印刷業者・出版業者の変遷を明らかにし、美術史・文芸史の枠を超えた、新しい視点の文化史であるととても高く評価されました。

岩切先生は「同郷の橋口五葉に着目したのが研究を始めるきっかけだった。版画という新しい時代の芸術に光を当ててもらい、とても感謝している」と受賞の喜びをコメントしています。



平成21年度 海外語学研修・オーストラリア研修は無事に終了しました

生活学科・臨検学科合同でオーストラリアでの研修旅行を実施しました。期間は3月15日～23日の9日間。参加者は生活学科4名、臨床検査学科23名でした。シドニー市内見学、語学学校での英語研修、また臨検学科は New South Wales 大学の病院や人体疾患博物館の見学、生活学科は Australia Street Infants School の訪問で幼児と交流しました。ケアンズに移動して世界遺産の熱帯雨林やグレートバリアリーフでのスキューバで大自然の素晴らしさを満喫しました。今年度の研修に奮ってご参加ください。

